

「地図豆」の地図を広げて街歩き

## 42-1 笠置山から柳生街道へ（距離約 25km）

柳生街道を JR 笠置駅から南へとって、石仏を巡り、石畳を踏みしめて奈良まで歩く。

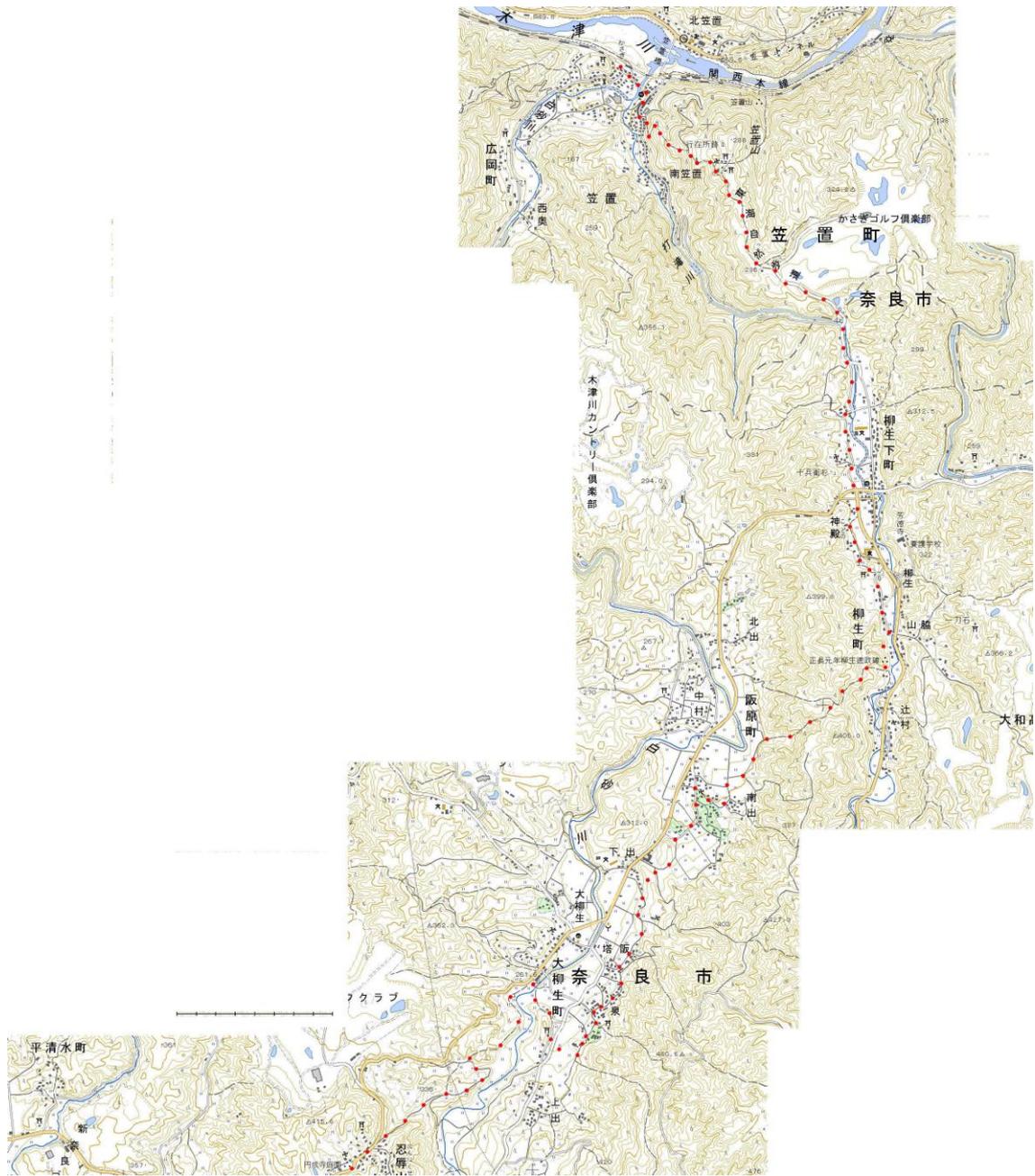


滝坂石畳道

### 【道順】

00JR 笠置駅→01 橋を渡って→02 笠置郵便局→03 関西本線のガード→04 市場の集落→05 笠置山登山口→06 笠置山徒歩道入り口→07 笠置の町を見る→08 笠置山徒歩道→09 笠置山寺→10 大師堂→11 後醍醐天皇御在所→12 千手窟→13 磨崖仏→14 柳生を眺める→15 ゆるぎ石→16 柳生へ向かう→17 笠置ゴルフ場へ→18 京都・奈良県界→19 再び柳生へ向かう小道へ→20 柳生の集落→21 十兵衛杉→22 柳生家老屋敷石垣→23 柳生家老屋敷→24 芳徳寺→25JR 一刀石→26 柳生陣屋跡へ→27 再び柳生街道へ→28 ほうそう地蔵へ→29 ほうそう地蔵→30 おふじの井戸→31 南明寺→32 多聞神社→33 夜支布山口神社→34 円成寺→35 円成寺先、地蔵→36 誓多林茶畑の地蔵→37 石切峠茶屋→38 滝坂道への脇道→39 地獄谷石仏群→40 首切り地蔵→41 滝坂石畳道→42 朝日観音→43 夕日観音→44 高畑町へ→45 空也上人旧跡→46 高畑町（破石町バス停へ）

ルートマップ 1





## 【街歩き解説】

00JR 笠置駅：JR 加茂駅経由で笠置駅へ、ローカルの駅頭から柳生街道へと向かう。



笠置駅から・笠置山寺

- 01 橋を渡って：駅から橋を渡り笠置山裾へと向かう。
- 02 笠置郵便局：笠置郵便局から南（右手）へ進む。
- 03 関西本線のガード：北（左手）に進むとガードをくぐると木津川を渡る笠置大橋がある。
- 04 市場の集落：古くは、市場と呼ばれた。
- 05 笠置山登山口：集落の切れ目を左に折れて、笠置山登山口とある大きな看板をくぐる。
- 06 笠置山徒歩道入り口：すぐに分岐した右手の歩道を進む。
- 07 笠置の町を見る：東海自然歩道から見た笠置の町は、谷の中。
- 08 笠置山徒歩道：笠置山徒歩道は東海自然歩道でもある。かなりの急坂になって笠置山へと上る。
- 09 笠置山寺：笠置山寺は、古くから信仰対象の山であったという。1300年前には修験道場となった。
- 10 大師堂：境内には周回道路があって、大師堂、正月堂、千手窟、磨崖仏、胎内めぐり、ゆるぎ石、蟻の戸わりなどをめぐる。
- 11 後醍醐天皇御在所：後醍醐天皇がここに御在所を置いたという。
- 12 千手窟：境内には周回道路があって、大師堂、正月堂、千手窟、磨崖仏、胎内めぐり、ゆるぎ石、蟻の戸わりなどをめぐる。
- 13 磨崖仏：境内には周回道路があって、大師堂、正月堂、千手窟、磨崖仏、胎内めぐり、ゆるぎ石、蟻の戸わりなどをめぐる。



磨崖仏・柳生を眺める

- 14 柳生を眺める：境内の周回道路から柳生方向を眺める。
- 15 ゆるぎ石：境内には周回道路があって、大師堂、正月堂、千手窟、磨崖仏、胎内めぐり、ゆるぎ石、蟻の戸わたりなどをめぐる。
- 16 柳生へ向かう：笠置山寺を後にして松林の中の道をたどって、柳生へ向かう。
- 17 笠置ゴルフ場へ：緑に囲まれた登山道から自動車道へ出て、笠置ゴルフ場脇へ。
- 18 京都・奈良県界：打滝川を渡る辺りに京都・奈良県界がある。
- 19 再び柳生へ向かう小道へ：川縁の石仏などを見ながら進むと、道路が分岐して右手の集落内の小道へと進む。
- 20 柳生の集落：立派な石垣や塀に囲まれた柳生集落の建物が迎える。
- 21 十兵衛杉：柳生十兵衛が植えたといわれる杉は、落雷で枯れている。近くに二代目が
- 22 柳生家老屋敷石垣：柳生家老屋敷には、ひときわ見事な石垣と白壁の塀がある。
- 23 柳生家老屋敷：江戸時代末期の柳生家の家老屋敷は、建物や庭に当時の雰囲気が残る。



十兵衛杉・柳生家老屋敷

- 24 芳徳寺：柳生家の菩提寺芳徳寺には、柳生家墓地や柳生十兵衛が剣術などを教えた正木道場もある。
- 25 JR 一刀石：正木坂道場から山道を上ると、柳生宗厳が天狗と違って刀を浴びせたと言われ、巨石が真二つになって残った一刀石がある。
- 26 柳生陣屋跡へ：柳生宗矩が3年の歳月を費やして建てた柳生陣屋跡、隣接して柳生八坂神社がある。
- 27 再び柳生街道へ：集落内の小道から阪原峠への山道へ入る。
- 28 ほうそう地蔵へ：ほうそう地蔵へ向かう道は柳生街道らしくなる。
- 29 ほうそう地蔵：ほうそう地蔵は、国史跡の「正長元年柳生徳政碑」でもある。向かって右下に長方形の枠取りがされ、借金の棒引きをすると云う証文が彫られた、室町時代の徳政を記念した碑である。



ほうそう地蔵・おふじの井戸

- 30 おふじの井戸：宗矩が、妻に迎えたという聡明なおふじが水を使っていた井戸がある。
- 31 南明寺：南明寺は、宝亀二年（771）の創建と伝えられる古刹で、鎌倉時代の建築
- 32 多聞神社：近くに石仏やお地蔵さまが鎮座する多聞神社だ。
- 33 夜支布山口神社：夜支布（やぎう）山口神社と読む。 8月17日に行なわれる大柳生太鼓踊りは、700年の伝統を持つという。
- 34 円成寺：柳生街道随一の名刹円成寺には、見事な楼門と庭園がある。
- 35 円成寺先、地蔵：円成寺から先左手山道に入ると、お地蔵さんが迎えてくれる。この先松林の道を進む。
- 36 誓多林茶畑の地蔵：円成寺から松林の道を抜けて、いったん自動車道へでて、その後誓多林集落へ出ると、左手に江戸時代の石灯籠、右手茶畑の小山からお地蔵さんが見ている。
- 37 石切峠茶屋：雰囲気がいい誓多林集落を抜けて、標高450mほどの石切峠へでる。そこには、190年からの歴史があるという石切峠の茶屋がある。



石切峠茶屋・地獄谷石仏群

- 38 滝坂道への脇道：あたりは、地獄谷国有林と呼ばれる。道は狭く険しい。
- 39 地獄谷石仏群：大仏殿の建立時の石工、あるいは平安時代末期に大乘院の僧が彫ったとか。正面の3尊は身体部分に金箔が施されている。「春日奥山ドライブウエー」を横断して、新池へ向かう。
- 40 首切り地蔵：三叉路の真ん中辺りに高さ2mほどの地蔵さんが立っている。荒木又右衛門が柳生からの帰りに試し斬りをしたと言われ、「首切り地蔵」と呼ばれて像は首の所で二つに折れている。



首切り地蔵・朝日観音

- 41 滝坂石畳道：柳生街道のこのあたりを「滝坂の道」と呼ぶ。石畳が美しい。
- 42 朝日観音：滝坂の道沿いには数多くの石仏が存在している。鎌倉時代の石彫を代表する石仏で、朝日に真っ先に照らされるので「朝日観音」。「夕日観音」を彫った作者と同一人物の作と思われる。
- 43 夕日観音：鎌倉時代に彫られた人の背丈ほどもある西向きの仏様で、夕日が当たるから「夕日観音」と呼ばれている、その先30mほどには、大日如来が転び、頭が東に下がっている「寝仏」がある。
- 44 高畑町へ：滝坂道を終えて、久しぶりに人里、高畑町へ入る。
- 45 空也上人旧跡：空也上人旧跡、新薬師寺などを経て破石町バス停へと下る。

46 高畑町（破石町バス停へ）：破石町バス停から奈良駅へ。

+\* \* \*+ オフィス 地図豆 yamaoka mitsuharu +\* \* \*+